

教 育 研 究 業 績 書		
令和 5年 4月 1日		
氏 名 成 田 仁 美		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キー ワード	
フードサービスに関する実務	学校給食、食育、フードコーディネイト、災害食	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
① 課題の提出と添削	平成31年4月 ～令和5年3月	食物栄養専攻必修科目「調理学実習Ⅰ」「調理学実習Ⅱ」では、調理の理論、理論に基づく献立についての調査学習を課し、理論と実践を結びつけられるよう促した。
② ミニテストの実施	令和2年4月 ～令和5年3月	食物栄養専攻の必修科目「調理学」「給食管理」の毎授業では、講義内容の理解度を確認するミニテストを行い、その解説をすることで知識の定着を図った。
③ Google クラクルームの活用	令和2年度4月 ～令和5年3月	事前にスライド資料を Google クラクルームに掲示し、予習復習、授業中の補助教材として役立てられるようにした。また、Google クラクルームのコメント欄を通じて適宜質疑応答することで、学習をサポートした。
④ アクティブラーニング	平成31年10月 ～令和5年3月 令和2年10月 ～令和4年3月	給食管理実習Ⅰでは給与栄養目標量の設定、献立作成(PC入力含む)・衛生管理事項の確認を、給食管理実習Ⅱでは、発注・役割分担、ミーティング、大量調理、栄養媒体作成、食空間整備、帳簿作成、残食量調査、実施後ミーティングに至るまでを一連の流れとして課題意識をもちながら学べる授業構成とした。実習成果を客観的に評価する方法として、喫食者アンケートを Excel で集計する演習を取り入れた。フードコーディネイト演習では、理論と実践が結びつくようにアクティブラーニングを取り入れた。
2 作成した教科書、教材		
① 特記事項なし		
3 教育上の能力に関する大学等の評価		

① 学生による授業評価アンケート結果における評価	令和 2 年 9 月	和歌山信愛女子短期大学において実施されている授業評価アンケートにおいて、「調理学実習 I」の科目評価が 5 ポイント中 4.8 ポイントと高い評価を得ており、学生の満足度が高い結果となっている。 また、「調理学」「給食管理」の講義科目において、令和 2 年度の科目平均が令和元年度に比べて 0.4 ポイント高い結果となった。中でも教員の教え方についての満足度は 0.7 ポイント高い結果となった。
② 学生による授業評価アンケート結果における評価	令和 3 年 3 月	全学的に実施している授業評価アンケートにおいて、調理学実習 I・II、調理学、給食管理の科目は、授業計画・授業内容・教員の教え方、授業成果の全ての項目において、食物栄養平均・全学平均のいずれよりも高く、学生にとって満足度の高い結果となっている。
③ 学生による授業評価アンケートにおける評価	令和 5 年 3 月	担当しているどの科目においても、学習環境や学習意欲、教員の教え方について 5 ポイント中 4.5 ポイント以上の高評価を得ている。
4 実務の経験を有する者についての特記事項 ① 特記事項なし		
5 その他 ① 特記事項なし		
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 資格、免許 ① 栄養士 ② 管理栄養士 ③ 栄養教諭一種 ④ 中学校教諭一種免許状 ⑤ 高等学校教諭一種免許状 ⑥ フードコーディネーター 3 級	平成 12 年 3 月 平成 23 年 6 月 平成 26 年 1 月 平成 16 年 3 月 平成 16 年 3 月 令和 5 年 2 月	第 5931 号 第 163366 号 平 25 栄養一第 9 号 め平 15 中一種第 141 号 め平 15 高一種第 189 号 第 086188 号
2 特許等 ① 特記事項なし		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		

<p>① 食育の研究発表および公開授業</p>	<p>平成 16 年 10 月</p> <p>平成 27 年 11 月</p> <p>平成 30 年 8 月</p> <p>平成 30 年 11 月</p>	<p>岡山市の「研究授業方式による食に関する指導研究会」の研究指定を受け、小学校第 4 学年学級活動「牛乳のひみつ」の授業研究と公開授業を行った。この食育の取組実践事例は冊子にまとめられ、岡山市内の全小学校に資料として配布され、食育研究活動の普及に貢献した。</p> <p>岡山市の「研究授業方式による食に関する指導研究会」の研究指定を受け、小学校第 3 学年総合的な学習の時間「農業王国牧石」の授業研究と公開授業を行った。この食育の取組実践事例は冊子にまとめられ、岡山県内の全小学校に配布され、各校での食育研究活動の普及に貢献した。</p> <p>第 59 回全国栄養教諭学校栄養職員研究大会（参加者 1055 名）において、食に関する指導を系統的・継続的に行うための手立て、教科等における食に関する指導を充実させるための栄養教諭の関わり方、給食時間における食に関する指導を充実させるための栄養教諭の関わり方に関して、「食の大切さを知り、自ら実践しようとする子供の育成～授業・環境・連携の視点から～」と題し、研究論文の発表とプレゼンテーションを行った。</p> <p>第 55 回全国小学校家庭科教育研究会全国大会岡山大会において、第 6 学年家庭科「一食分の食事を考えよう」の授業研究と公開授業を行った。小学 3 年次より 4 年間を通して給食時間での指導を含め学級活動、生活科、道徳科、社会科、総合的な学習の時間、家庭科にわたり教科横断的・学年横断的に地域農業との関わりを深めながら、食育に取り組んできたことの成果が発揮できた。全国から集まった 500 人余りの小学校教員の前で、食育 SAT システム、タブレット端末と電子黒板等の ICT を活用した授業を発表した。</p>
<p>②大量調理における衛生管理の研究</p> <p>③給食管理、調理指導、給食会計管理、栄養管理に従事</p> <p>④岡山市基本献立委員として、献立作成、物資選定・開発に従事</p> <p>⑤岡山市学校栄養士研究会として調査研究を行った。</p> <p>⑥児童家庭科クラブの指導</p> <p>⑦給食委員会の指導</p>	<p>平成 16 年度より平成 31 年 3 月年 1 回実施</p> <p>平成 16 年 4 月～平成 31 年 3 月</p> <p>平成 28 年 4 月～平成 31 年 3 月</p> <p>平成 16 年～平成 31 年 3 月</p> <p>平成 27 年 4 月～平成 31 年 3 月</p> <p>平成 16 年 4 月～平成 31 年 3 月</p>	<p>A T P ふきとり検査を活用した二次汚染防止の考察（近隣校の栄養教諭・学校栄養職員との共同研究）を行い、客観的数値を用いて調理員への衛生指導を行った。</p> <p>小・中規模直営単独校方式調理場、民間委託方式学校給食センターでの衛生管理及び栄養管理</p> <p>岡山市の栄養教諭・学校栄養職員を代表し、基本献立を考案する委員として、献立作成、物資選定、特注物資開発に従事した。</p> <p>岡山市立学校全児童生徒を対象とした朝食及び生活習慣の調査研究（5 年ごと実施・集計）とデータを活用した指導資料の作成に従事した。</p> <p>小学校の家庭科クラブの指導を担当した。フラワーアレンジメント、茶道、裁縫、クッキングの指導を行った。</p> <p>小・中学校において、給食委員会の指導を担当した。嗜好調査、残食量調査、全校集会、給食時間の放送などの指導を行った。</p>
<p>4 その他</p>		

① 学校における食育についての情報発信	平成 27 年 6 月	岡山市教育委員会と地元プロサッカーチーム「ファジアーノ岡山」の共同企画による選手の学校訪問事業において、給食時間の企画・運営の代表として携わった。交流給食、自校給食紹介（地元野菜）、プロサッカー選手への食事のインタビューなど、魅力ある内容を実施した。地元テレビ、新聞で紹介され、その後岡山市全校にこの交流事業が広まり、継続している。
	平成 29 年 11 月	地域人材や地域の野菜を有効活用しながら、学校教育全体で取り組む牧石小学校の食育実践とその方向性について、J A 岡山のコミュニティ雑誌（岡山・玉野市に 19 万 9 千部発行）にまとめ、地域住民へ情報発信する際に中心的役割を務めた。これは、J A 岡山広報誌「ばれっと」を通じて、牧石小学校での食育の取組を地域住民に向け情報発信を続けてきたことで、地域住民の食育への関心が高まってきたこと、学校給食へのより一層の理解を深め、地域住民とともに食育を推進することをねらいとしていた。
② 栄養士実習生への指導	平成 17 年～平成 31 年	県内の栄養士養成大学・短期大学の臨地実習の指導を行った。
③ 学校保健委員会・給食運営委員会の講師	平成 16 年～平成 31 年	児童生徒が望ましい食生活習慣を身につけるために必要となる家庭の協力について、保護者を対象とした講話を行った。食育 S A T システムやヘモグロビン量測定器、体組成計などを用い、客観的指標をもとに食事・生活指導を行った。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 特記事項なし 2 3				
(学術論文) 1 特記事項なし 2 3				
(その他) 「学会発表」 1 特記事項なし 2 3 「 」 1 2 3 「 」 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	— — —			

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要